

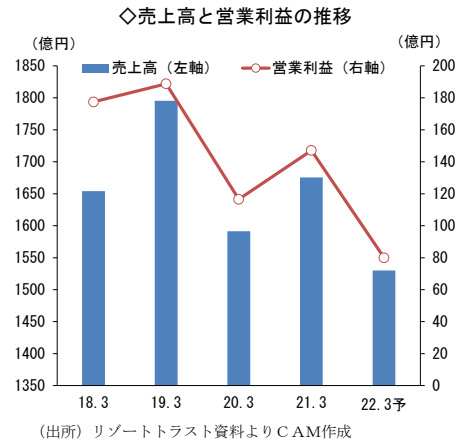
企業ニュース リゾートトラスト

(東証1部: 4681) <https://www.resorttrust.co.jp/>

作成者: 高見澤晶子

会員制リゾートホテル国内最大手

会員制ホテル「バイコート倶楽部」「エクシブ」の開発・運営、会員権の販売を手掛ける。2024年には新ホテルブランド「サンクチュアリコート」の第1弾開業を控える。ホテルの他、会員制検診施設「グランドハイメディック倶楽部」の運営も行っている。21. 3期のセグメント別売上高構成比は、会員権40%、ホテルレストラン等36%、メディカル24%。「会員制モデル」を基軸とした成長を目指すとしており、会員数や1顧客あたりの利用額の増加策に力を入れている。会員数については、デジタルの活用や紹介契約といった入会経路の拡大が寄与し、新規会員の獲得が進んでいる。これらの施策に加え、展開エリア拡充などにより、さらなる会員増が期待される。



会員権販売好調で営業利益を上方修正

22. 3期・第2四半期累計(4-9月)の連結業績は、売上高が764億円、前年同期比11%減、営業利益が51億円、同49%減。前年同期に「横浜バイコート倶楽部」の開業に伴う繰延収益を一括計上した反動減により、前年同期比では大幅減益。ただし、同影響などを除いて会社が算出した実力値の営業利益は100億円(前年同期は7億円の赤字)と、コロナ禍前の20. 3期の上期とおおむね同水準となった。会員権の契約高は上半期として過去最高、今期販売を開始した「サンクチュアリコート高山」がけん引した。検診施設の会員権販売も順調だった。また、会員制ホテルの稼働率はコロナ禍前に対して8割程度の水準まで回復、ホテルレストラン等の営業利益は黒字化した。

22. 3期の通期会社計画は、売上高が1, 530億円、前期比9%減、営業利益が80億円、同46%減。緊急事態宣言が想定以上に長引いた影響で売上高を52億円減額した一方、収益性の高い会員権事業が好調なため営業利益は10億円増額した。今期は新規ホテルの開業がないため前年同期比では減収減益の見通しだが、前述の実力値で見ると前期比18%増収、同319%営業増益の想定。

[株価動向・投資判断]

会員制という強みを発揮し、同業他社と比較して早期の業績回復が見込めよう。また、検診施設の会員権販売も順調であり、中長期でのメディカル事業の拡大も期待できよう。

<4681 リゾートトラ 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20. 3	159, 145 (▲ 11)	11, 652 (▲ 38)	12, 476 (▲ 36)	7, 135 (▲ 42)	66. 7	40. 00
21. 3	167, 538 (5)	14, 707 (26)	17, 647 (41)	▲ 10, 213 (-)	▲ 95. 4	30. 00
22. 3 予	153, 000 (▲ 9)	8, 000 (▲ 46)	9, 600 (▲ 46)	7, 000 (-)	65. 6	30. 00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2021/11/19)	2, 078 円
年初来高値 (高値日)	2, 267 円 (21/11/16)
同 安値 (安値日)	1, 411 円 (21/1/5)
予想 P E R (22. 3 予)	31. 7 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	959. 2 円
P B R	2. 17 倍
予想配当利回り	1. 44 %
(1株当たり配当金年30. 00円)	
R O E (21. 3)	▲ 8. 4 %
発行済み株式数	10, 852 万株